

MEE

24型タッチパネルモニター 形名 TSD-PT241W-C

取扱説明書



- この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。特に「安全のために必ず守ること」は、タッチパネルモニターをご使用の前に必ず読んで正しくお使いください。
- この取扱説明書に収録している保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめて、販売店からお受け取りください。
- 取扱説明書は「お客さま相談窓口のご案内」と共に大切に保管してください。

インターネットホームページ：
<https://www.mee.co.jp/sales/visual/touch-monitor/>

製品情報などを提供しています。

投影容量方式

もくじ ページ

1. ご使用の前に.....	2
2. 安全のために必ず守ること.....	3
3. 各部の名称.....	6
◆ 本体正面・側面.....	6
◆ 本体背面.....	7
◆ 付属品の確認.....	7
4. 接続.....	8
◆ 電源の接続.....	8
◆ ケーブルの接続.....	8
5. 画面調節.....	9
◆ 画面の調節.....	9
◆ OSD画面の基本操作.....	10
◆ OSD機能.....	11
6. 機能.....	12
◆ 自動画面表示.....	12
◆ 表示サイズ切替機能.....	13
◆ パワーマネジメント機能.....	14
◆ タッチパネルの設定.....	15
◆ タッチパネルの操作設定.....	16
7. 困ったとき.....	17
◆ 故障かな?と思ったら.....	17
◆ お手入れ.....	19
◆ 保証とアフターサービス.....	19
8. 付録.....	20
◆ 保証書.....	20
◆ 仕様.....	21

ご使用の前に

各部の名称

画面調節

機能

困ったとき

付録

1 ご使用の前に

この装置は、クラスB機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取扱いをしてください。
本機は付属の電源コード、信号ケーブルを使用した状態でVCCI基準に適合しています。

- 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは固くお断りします。
- 本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については、万全を期して作成しましたが、万一誤り、記載もれなどお気付きの点がありましたらご連絡ください。
- 亂丁本、落丁本の場合はお取り替えいたします。販売店までご連絡ください。

安全
の
使
用
の
た
め
に
…

Windows®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
その他の社名および製品名は、各社の商標および登録商標です。

この取扱説明書に使用している表示と意味は次のようにになっています。
誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。



誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性があるもの



誤った取扱いをしたときに傷害または家屋家財などの損害に結びつくもの

図記号の意味は次のとおりです。

	絶対におこなわないでください。
	絶対に分解・修理はしないでください。
	必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

	必ず指示に従いおこなってください。
	必ずアースリード線を接地(アース)してください。
	高圧注意(本体後面に表示)

お願い:取扱い上特に守っていただきたい内容

おしらせ:取扱い上参考にしていただきたい内容

参考にしていただきたいページ

【ミニ解説】:専門用語の簡単な説明

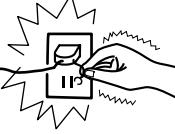
2 安全のために必ず守ること

●ご使用の前に、この欄を必ずお読みになり、正しく安全にお使いください。

⚠ 警告

万一異常が発生したときは、電源プラグをすぐ抜く!!

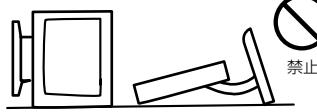
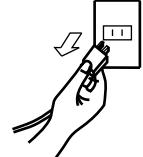
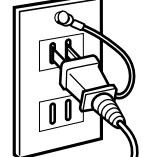
ご使用の前に…

<p>異常のまま使用すると、火災・感電の原因になります。 すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店に修理をご依頼ください。</p> <p>●電源コードを傷つけない</p> <p>●裏ぶたを外さない</p> <p>●液晶を口にしない</p>		
<p>故障(画面が映らないなど)や煙、変な音・においがするときは使わない</p>  <p>火災・感電の原因になります。</p>	<p>傾斜面や不安定な場所に置かない</p>  <p>禁止</p>	<p>異物を入れない 特にお子さまにご注意</p>  <p>禁止</p>
<p>重いものをのせたり、熱器具に近づけたり、無理に引っ張ったり、折り曲げたまま力を加えたりしないでください。コードが破損して火災・感電の原因になります。</p>	<p>落ちたり、倒れたりしてけがの原因になります。</p>	<p>火災・感電の原因になります。</p>
<p>修理・改造をしない</p>  <p>けが・火災・感電の原因になります。</p>	<p>修理・改造禁止</p>	<p>ポリ袋で遊ばない 特にお子さまにご注意</p>  <p>禁止</p> <p>本体包装のポリ袋を頭からかぶると窒息の原因になります。</p>
<p>内部には電圧の高い部分があり、さわると感電の原因になります。</p>	<p>アースリード線を挿入・接触しない</p>  <p>禁止</p>	<p>正しい電源電圧で使用する</p>  <p>指定の電源電圧以外で使用すると火災・感電の原因になります。 一般のご家庭のコンセント(AC100V)でお使いいただくための電源コードを添付しております。本機に添付している電源コードは本機専用です。安全のため、他の機器には使用しないでください。</p>
<p>水などが本機の内部に入った場合はすぐに本体の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてお買い上げの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、故障・火災・感電などの原因になります。</p>	 <p>水ぬれ禁止</p>	<p>雷が鳴り出したら、電源プラグには触れない</p>  <p>接触禁止</p> <p>雷が鳴り出したら電源プラグには触れないでください。 感電の原因になります。</p>
<p>液晶パネルが破損し、液晶が漏れ出た場合は、液晶を吸い込んだり、飲んだりしないようにしてください。中毒を起こす恐れがあります。万一口に入ってしまったたり、目に入ってしまった場合は、水でゆすいでいただき、医師の診断を受けてください。手や衣類についてしまった場合は、アルコールなどで拭き取り、水洗いしてください。</p>		

⚠ 注意

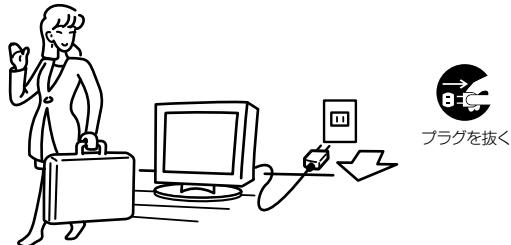
設置のときは次のことをお守りください。

風通しが悪かったり、置き場所によっては、内部に熱がこもり、火災や感電の原因になります。

<p>狭い所に置かない</p>  <p>設置禁止</p>	<p>あお向けや横倒し、さかさまにしない</p>  <p>禁止</p>	<p>直射日光や熱器具のそばに置かない</p>  <p>設置禁止</p>
<p>布などで通風孔をふさがない</p>  <p>禁止</p>	<p>屋外での使用禁止</p>  <p>屋外での使用禁止</p>	<p>湿気やほこりの多い所、油煙や湯気の当たる所に置かない</p>  <p>設置禁止</p>
<p>車載用禁止</p> <p>車載用など移動用途には使用できません。故障の原因になることがあります。</p>  <p>禁止</p>	<p>本製品は屋内での使用を想定しています。屋外では使用しないでください。故障の原因となることがあります。</p>	
<p>タッチパネルに衝撃を加えない</p> <p>タッチパネル面を固いもので叩いたりして衝撃を加えないでください。 破損してけがや故障の原因になります。</p>  <p>禁止</p>	<p>接続線をつけたまま移動しない</p> <p>火災・感電の原因になります。 電源プラグや機器間の接続線を外したことを確認のうえ、移動してください。</p>  <p>禁止</p>	
<p>電源プラグを持って抜く</p> <p>コードを引っ張ると傷がつき、火災・感電の原因になります。</p>  <p>プラグを持つ</p>	<p>ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない</p> <p>感電の原因になります。</p>  <p>ぬれ手禁止</p>	
<p>電源プラグのアースリード線を接地(アース接続)する</p> <p>故障のときには感電の原因になります。 アース接続は必ず電源プラグをコンセントにつなぐ前におこなってください。また、アース接続を外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてからおこなってください。</p>  <p>接地</p>	<p>お手入れの際は電源プラグを抜く</p> <p>感電の原因になります。 During servicing, disconnect the plug from the socket-outlet.</p>  <p>プラグを抜く</p>	
<p>電源プラグを奥まで差し込む</p> <p>電源プラグは奥までしっかりと差し込んでください。 しっかりと差し込まれていないと火災・感電の原因となることがあります。</p>  <p>抜けかかり禁止</p>  <p>しっかりと差し込んで</p>	<p>本機を廃棄する場合</p> <p>本機に使用している部品には環境負荷物質が含まれていますので、本機を廃棄する際は法律に従ってください。 詳細は、所在の地方自治体に問い合わせてください。</p>	

！注意

長期間の旅行、外出のときは電源プラグを抜く



電源プラグのほこりなどは定期的に取る

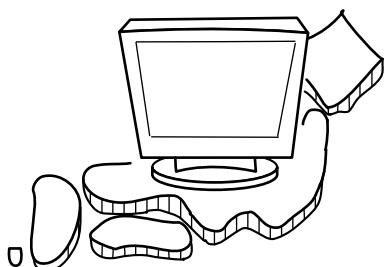
火災の原因になります。
1年に一度は電源プラグの定期的な清掃と接続を
点検してください。



ご使用の前に…

タッチパネルモニターの上手な使い方

日本国内専用です



このタッチパネルモニターは日本国内用として製造・販売しています。
日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。
またこの製品に関する技術相談、アフターサービス等も日本国外
ではおこなっていません。

This Touch monitor is designed for use in Japan and can
not be used in any other countries.

上手な見方

画面の位置は、目の高さよりやや低く、目から約40～70cmはな
れたぐらいが見やすくて目の疲れが少くなります。
明るすぎる部屋は目が疲れます。適度な明るさの中でご使用くだ
さい。
また、連続して長い時間、画面を見ていると目が疲れます。

タッチパネルモニターのお手入れ



タッチパネルモニターの表面にほこりや汚れがついているときは、柔ら
かい布でやさしく拭いてください。表面は傷つきやすいので硬いもの
でこすったり、叩いたりしないでください。また、液晶パネルは壊れやす
いので強く押したり、強い力を加えたりしないでください。
パネルの表面が変色したり、変質するなどの原因となりますので、
OAクリーナは使用しないでください。

おしらせ

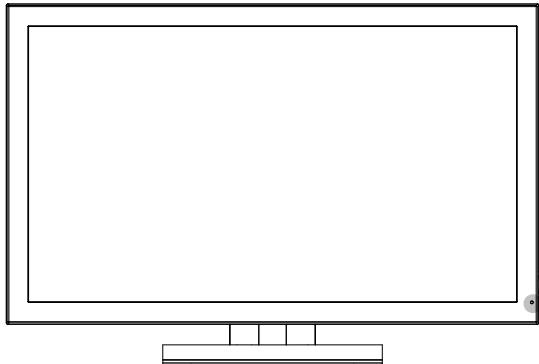
残像について

残像とは、長時間同じ画面を表示していると、表示画面を変えたときに前の画面表示が残る現象です。
残像は、画面表示を変えることで徐々に解消されますが、あまり長時間同じ画面を表示すると残像が消えなくなりますので、同じ画面
を長時間表示するような使い方は避けてください。
「スクリーンセーバー」などを使用して画面表示を変えることをおすすめします。
本機液晶パネルにおきましては、白い画面が多いスクリーンセーバーで残像が発生する可能性が高いので注意ください。

3 各部の名称

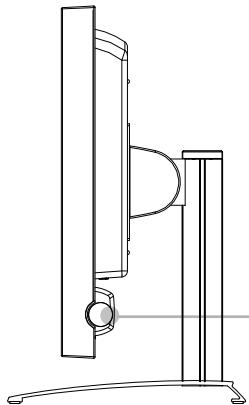
* 本体正面・側面

各部の名称

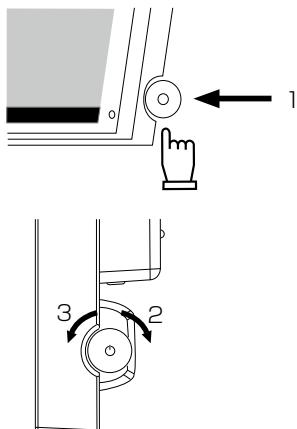


電源ランプ

電源を入れたときは電源ランプは緑色に点灯します。
パワーマネージメント機能の作動中は
オレンジ色に点灯します。



コントロールダイアル



電源をオン／オフしたり、メニューを表示させたりする場合に使用します。
ただし、コントロールダイアルの電源オン／オフの操作は、主電源スイッチ (図P7) が "ON" となっていて、正常な電源電圧が供給されていることが前提です。

1. 長押しの場合は、電源をオン／オフできます。
短押しの場合は、OSD画面を表示させることができます。

調節項目を選択したり、設定値を変更するために、コントロールダイアルを回します。
2. 時計回りに回す: メニュー上へ
設定値増
3. 反時計回りに回す: メニュー下へ
設定値減

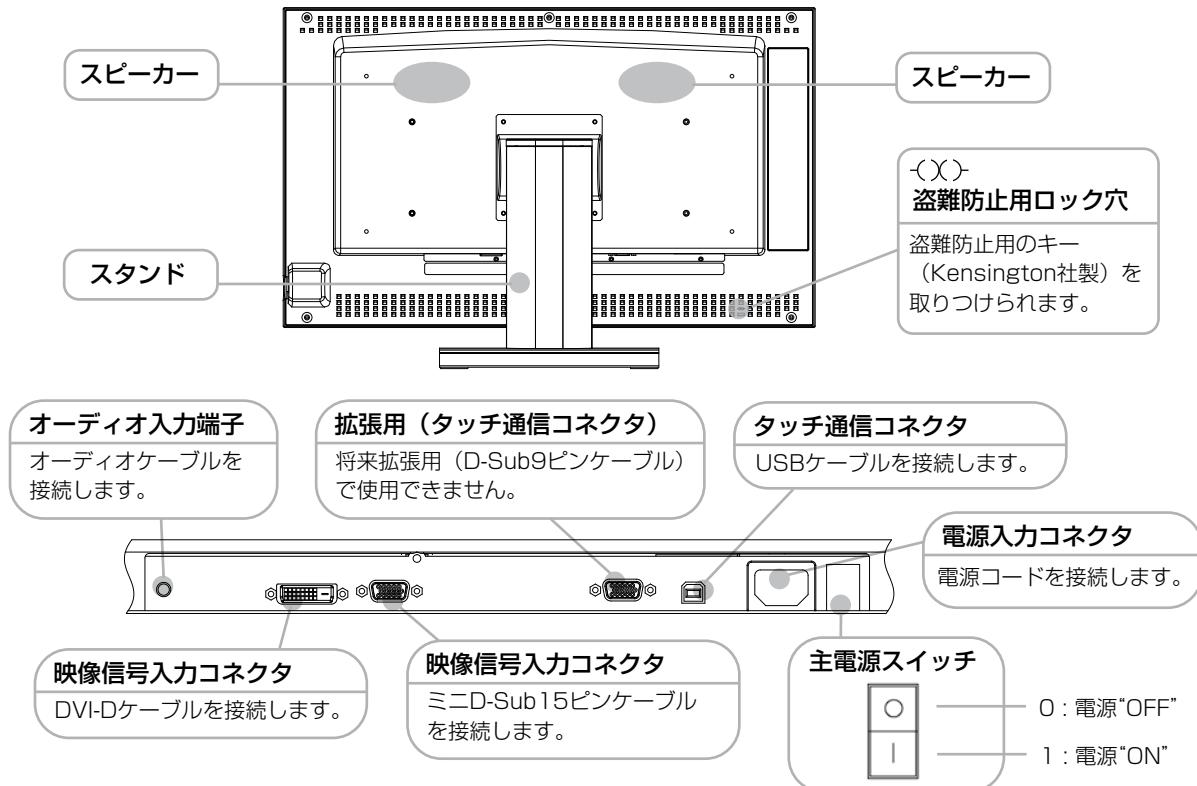
お願い

電源を短時間のうちにひんぱんに
オン／オフしないでください。故障の原因となることがあります。

おしらせ

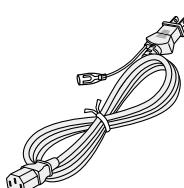
- コントロールダイアルによる詳しいOSD画面の操作については「OSD機能」 (図P11) をご覧ください。

* 本体背面

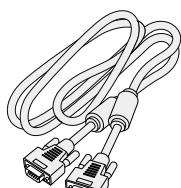


* 付属品の確認

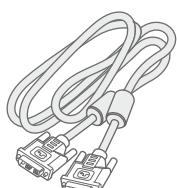
お買い上げいただいたときに同梱されている付属品は次のとおりです。
万一不足しているものや損傷しているものがありましたら、販売店までご連絡ください。



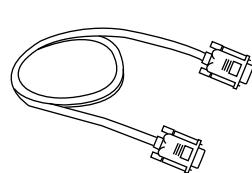
① 電源コード



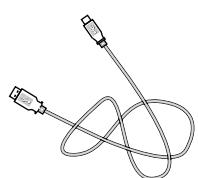
② 映像信号ケーブル (アナログ)
ミニD-Sub 15ピン
—ミニD-Sub 15ピン
フェライトコア2つ付



③ 映像信号ケーブル (デジタル)
DVI-D—DVI-D
フェライトコア2つ付



④ 拡張用タッチ通信ケーブル
将来拡張用で未使用です。



⑤ タッチ通信ケーブル
USBタイプA—USBタイプB
フェライトコアなし



⑥ オーディオケーブル
フェライトコアなし



⑦ 取扱説明書 (本書)



⑧ お客さま相談窓口のご案内

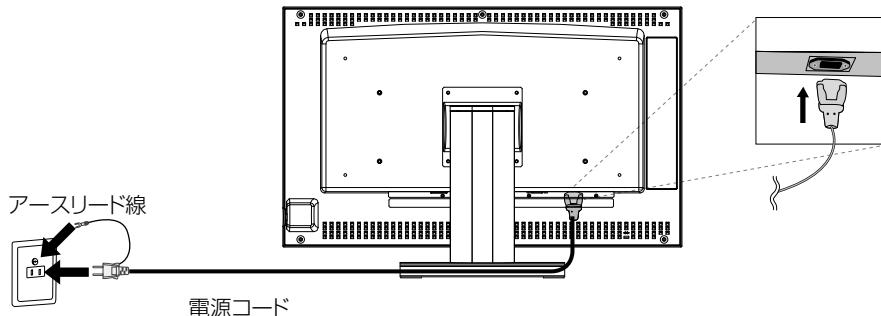
4 接続

* 電源の接続

アースリード線を接地（アース接続）してから電源プラグをAC100V電源コンセントに接続してください。
コンピュータ本体の電源コンセントに接続するときは、電源容量を確認してください。（1.0A以上必要です。）

お願い

コンピュータに接続する前に、本機、コンピュータおよび周辺接続機器の電源を切ってください。



⚠ 警告

- 表示された電源電圧以外で使用しないでください。火災・感電の原因になります。
- 故障のとき感電の原因となりますので、電源プラグのアースリード線は必ず接地（アース）してください。
また、電源プラグのアースリード線は電源コンセントに挿入または接触させないでください。火災・感電の原因となります。
- 本機に添付している電源コードは本機専用です。安全のため他の機器には使用しないでください。
- 付属の電源コードはAC100V専用です。AC100V以外でご使用になる場合は、別途電源電圧に合った電源コードをご用意ください。

お願い

電源コンセントの周辺は、電源プラグの抜き差しが容易なようにしておいてください。

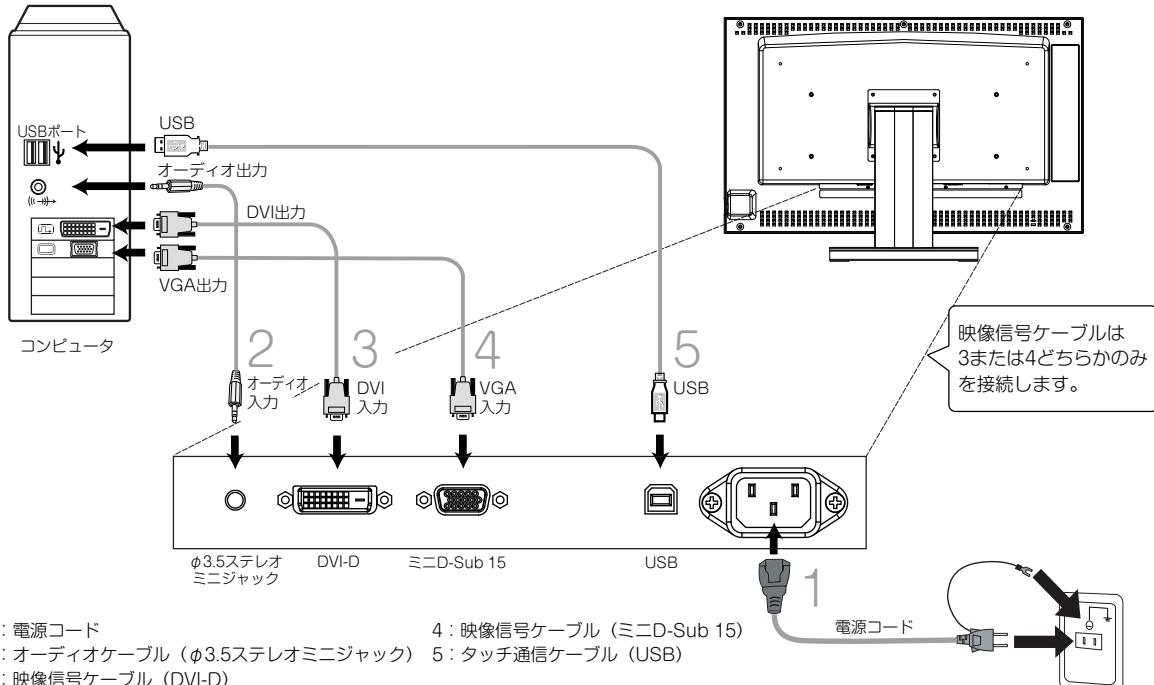
This socket-outlet shall be installed near the equipment and shall be easily accessible.

* ケーブルの接続

ケーブルは、接続後必ずそれぞれの固定ネジで確実に固定してください。

お願い

ケーブルを接続する前に、本機、コンピュータおよび周辺機器の電源を切ってください。



1: 電源コード

2: オーディオケーブル（φ3.5ステレオミニジャック）
3: 映像信号ケーブル（DVI-D）

4: 映像信号ケーブル（ミニD-Sub 15）

5: タッチ通信ケーブル（USB）

5 画面調節

* 画面の調節 (アナログ接続の場合)

画面の調節方法として「自動画面調節」と「マニュアル画面調節」の2種類があります。本機をコンピュータと接続したときは、最初に「自動画面調節」をおこなってください。その後、調節をおこなう必要がある場合は、「マニュアル画面調節」をおこなってください。

おしらせ

- 本機は水平周波数:30.0 ~ 80.0kHz、垂直周波数:50.0 ~ 75.0Hz 対応となっていますが、この範囲内であっても入力信号によっては表示できない場合があります。その場合は、コンピュータのリフレッシュレートまたは解像度を変更してください。

1. 自動調節

- (1) 本機、およびコンピュータの電源を入れてください。
- (2) OSDメニュー「Auto Setup」を選択することにより、自動画面調節を開始します。
入力された信号を検出し、「H.Position」、「V.Position」、「Phase」、「Clock」の自動調節を開始します。
- (3) 調節完了です。
その後、調節後の結果を保存するか聞いてきます。
調節後、表示に問題がない場合は「Yes」を選択して結果を保存してください。
再度調節が必要であれば、「No」を選択し、入力信号を変えるなどして再度実施してください。

おしらせ

- DOSプロンプトのように文字表示のみの場合は、自動画面調節がうまく機能しない場合があります。
- コンピュータやビデオカードによっては、自動画面調節がうまく機能しない場合があります。この場合、マニュアル画面調節でお好みの画面に調節してください。

2. マニュアル調節

- (1) 本機およびコンピュータの電源を入れてください。
- (2) 「OSD機能」(P11)を参照のうえ、調節項目を選択します。
- (3) コントロールダイアルを使用して、お好みの画面に調節します。

* OSD画面の基本操作

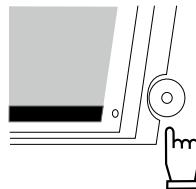
本機にはOSD (On Screen Display) 機能がついています。OSD画面を操作することにより、いろいろな調節ができます。

調節方法

手順①
本機の電源を入れる。

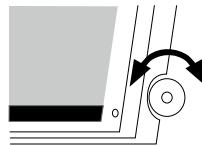


手順②
本体側面にあるコントロール
ダイアルを短押ししてOSDを
表示する。



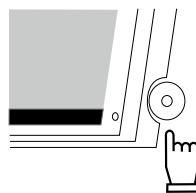
短押しし、メニューを表
示します。

手順③
コントロールダイアルを回し
て主調節項目を選択し、短押
しで項目を選び。



コントロールダイアルを
回して調節項目を決定し
ます。

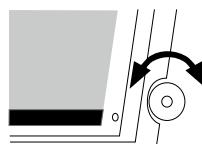
手順④
コントロールダイアルを回し
て副調節項目を選択し、短押
しで項目を選び。



短押しで調節項目を決定
します。

手順⑤
コントロールダイアル
を回して選択する。

手順⑤
コントロールダイアル
を回して調節する。



コントロールダイアルを
回して調節します。

その他、OSDで操作方法を表示している場合はそれに従ってください。

おしらせ

上記のボタンのいずれも押さず一定時間が経過するとOSD画面は自動的に消えます。

※ OSD機能

OSD画面は、以下に示すような構成になっています。

調節可能な機能は以下の通りです。なお、デジタル入力（DVI）を使用している場合、Auto Setup、Display、Color Mode、Clock/Phaseの項目は選択できません。

調節項目		機能(調節内容)
Auto Setup		入力映像信号に適した表示サイズ、表示位置、色合い等を自動的に調節します。 (アナログ接続の場合のみ)
Brightness		画面の明るさを調節します。(設定範囲：0-100)(工場出荷設定値90)
Contrast		コントラストを調節します。(設定範囲：0-100)(工場出荷設定値90)
Display	Exit	Displayの調節を終了します。
	H Position	左右方向の表示位置を調節します。(アナログ接続の場合のみ)(工場出荷設定値50)
	V Position	上下方向の表示位置を調節します。(アナログ接続の場合のみ)(工場出荷設定値50)
Color Mode	Exit	Color Modeの調節を終了します。
	Cool	Cool(色温度9300K)を選択します。
	Neutral	Neutral(色温度6500K)を選択します。(工場出荷設定)
	Warm	Warm(色温度5400K)を選択します。
	User	Userを選択します。このモードではR,G,B各色の色温度を調節できます。 (アナログ接続の場合のみ)
Clock/Phase	Exit	Clock/Phaseの調節を終了します。
	Clock	画面の水平方向の大きさを調節します。(アナログ接続の場合のみ)
	Phase	画面のにじみ・ノイズ(クロック位相)を調節します。 (アナログ接続の場合のみ)
Management	Exit	Managementの調節を終了します。
	Scaling	画面表示方法を調節します。 Exit：終了、Full：フルスクリーン拡大、Aspect(工場出荷設定)：アスペクト保持拡大、 1:1：等倍表示が選択できます。(☞ P13)をご覧ください。
	OSD Display	OSDの水平表示位置(OSD H.Position)、垂直表示位置(OSD V.Position)を 調節します。(設定範囲：0-100)(工場出荷設定値50)
	Language	OSDメニューの表示言語を切り替えます。 英語(工場出荷設定)、フランス語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語、日本語が選択できます。
	Source	映像信号入力を切り替えます。 EXIT：終了、VGA：アナログRGB、DVI：DVI-Dが選択できます。
	Recall	OSD調節値を工場出荷設定状態に戻します。
	Mute	ON：ミュート(消音)を設定します。OFF(工場出荷設定)：ミュートを解除します。
	Volume	スピーカーの音量調節をします。(設定範囲：0-100)(工場出荷設定値50)
Exit		OSD調節を終了します。

おしゃらせ

- HOT KEY機能
OSDが表示されていない状態でコントロールダイアルを時計回り、あるいは反時計回りに回すと、
Brightnessを直接調節できます。

- 「Management」-「Scaling」により、表示サイズの切り替えができます。
詳細は「表示サイズ切替機能」を参照ください。(☞ P13)

- 「Management」-「Recall」によって工場出荷設定状態に戻る項目は以下のとおりです。
Brightness、Contrast、Color Mode、Scaling、OSD Display、Mute、Volume

6 機能

* 自動画面表示

本機は下表に示す種類のタイミングの自動判別をおこない画面情報を設定しますので、コンピュータに接続すると、自動的に適切な画面を表示します。ただし、コンピュータによっては画面にちらつきやにじみが生じることがあります。また、入力信号によっては、うまく表示できないこともあります。その場合は画面調節 (□ P9) をおこなってください。

工場プリセットタイミングで表示したあとでも、調節ボタンでお好みの画面に調節 (□ P9) できます。この場合、調節後の画面情報が記憶されます。

No.	解像度	周波数		その他
		水平 (KHz)	垂直 (Hz)	
1	720 x 400	31.47	70.08	
2	640 x 480	31.47	59.96	
3	640 x 480	37.86	72.81	
4	640 x 480	37.50	75.00	
5	800 x 600	35.16	56.25	
6	800 x 600	37.88	60.32	
7	800 x 600	48.08	72.19	
8	800 x 600	46.88	75.00	
9	848 x 480	29.83	60.02	
10	848 x 480	37.57	74.84	
11	1024 x 768	48.36	60.00	
12	1024 x 768	56.48	70.07	
13	1024 x 768	60.02	75.03	
14	1152 x 864	67.50	75.00	
15	1280 x 960	60.00	60.00	
16	1280 x 1024	63.98	60.02	
17	1280 x 1024	79.98	75.03	
18	1600 x 1200	75.00	60.00	
19	1680 x 1050	65.29	59.95	
20	1920 x 1080	66.65	59.99	推奨信号タイミング

- 入力信号の識別は、水平周波数・垂直周波数・同期信号極性・同期信号タイプによりおこなっています。
- 本機は水平周波数:30.0 ~ 80.0kHz、垂直周波数:50.0 ~ 75.0Hz 対応となっていますが、この範囲内であっても入力信号によっては正しく表示できない場合があります。(アナログRGBおよびDVI入力共)
この場合は、コンピュータの周波数、または解像度を変更してください。
- インターレース信号には対応していません。
- おしらせ**
 - 解像度 1920 × 1080 以外の信号を入力した場合は、文字がにじんだり図形が歪んだりすることがあります。

※ 表示サイズ切替機能

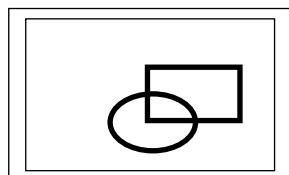
Full HD (1920 × 1080) より低い解像度 (VGA, SVGA, XGA, SXGA 等) の信号入力時は、OSD メニューの「Management」-「Scaling」で調節された設定に従い、拡張表示あるいは元の解像度のままの表示をおこないます。「Scaling」設定が「Full」および「Aspect」の場合の入力解像度における表示解像度を下表に示します。

入力解像度	Scaling 設定 Full			Scaling 設定 Aspect			備考
	水平 拡大倍率	垂直 拡大倍率	拡大時の 表示解像度	水平 拡大倍率	垂直 拡大倍率	拡大時の 表示解像度	
640 × 480	3.00	2.25	1920 × 1080	2.25	2.25	1440 × 1080	VGA
720 × 400	2.67	2.70	1920 × 1080	2.67	2.67	1920 × 1068	IBM,VGA
800 × 600	2.40	1.80	1920 × 1080	1.80	1.80	1440 × 1080	SVGA
848 × 480	2.26	2.25	1920 × 1080	2.25	2.25	1908 × 1080	WVGA
1024 × 768	1.88	1.41	1920 × 1080	1.41	1.41	1440 × 1080	XGA
1280 × 960	1.50	1.13	1920 × 1080	1.13	1.13	1440 × 1080	XGA
1280 × 1024	1.50	1.05	1920 × 1080	1.05	1.05	1350 × 1080	SXGA
1600 × 1200	1.20	0.90	1920 × 1080	0.90	0.90	1440 × 1080	USGA
1680 × 1050	1.14	1.03	1920 × 1080	1.03	1.03	1728 × 1080	WSXGA+
1920 × 1080	1.00	1.00	1920 × 1080	1.00	1.00	1920 × 1080	Full HD

OSD機能の「Management」-「Scaling」の設定で入力映像信号の表示方法を切り替えることができます。

①「Full」：フルスクリーン拡大

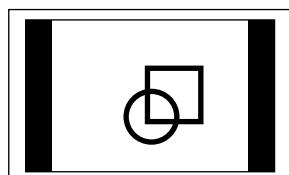
画面全体に画像を拡大して表示します。ただし、元の画像によっては、拡大比率が縦横一定にならない場合もあり、表示画像に歪みが発生する場合があります。



この設定では、例えばXGA解像度 (1024×760) の画面は左図のように縦横に画面一杯に拡大されますが、縦と横の拡大比率が同じでないため、表示される内容が歪みます（左図の例）。

②「Aspect」：アスペクト保持拡大（初期設定）

画面全体に画像を表示します。ただし、元の画像のアスペクト比（縦横比）を保持し、拡大比率を縦横一定にするため、上下・左右のどちらかの方向の端に画像が表示されない部分が残る場合があります。

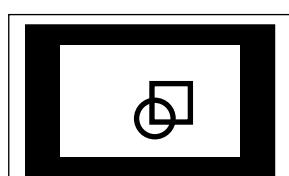


この設定では、例えばXGA解像度 (1024×760) の画面は左図のように縦方向に画面一杯になるよう拡大されます。元画面のアスペクトは保持されるため、横方向に無表示部分が残りますが、表示される内容に歪みは発生しません（左図の例）。

また、最大のFullHD解像度 (1920×1080) が入力された場合は、縦横画面一杯に表示されるため、上記①「Full」の設定と同じ表示になります。

③「1:1」：等倍表示

入力された解像度のままの大きさで画像が表示されます。



この設定では、例えばXGA解像度 (1024×760) の画面は左図のようにそのままの解像度の画面が表示されます。解像度が低い場合は縦方向および横方向に無表示部分が残りますが、表示される内容に歪みは発生しません（左図の例）。

* パワーマネージメント機能

コンピュータを使用しないときに本機の消費電力を減少させる機能です。

おしらせ

- この機能はVESA DPMS対応パワーマネージメント機能を搭載しているコンピュータと接続して使用する場合にのみ機能します。

パワーマネージメント機能が作動している場合の消費電力と電源ランプの点灯状態は以下のとおりです。

モード	消費電力	電源ランプ
通常動作時	45W(標準)	緑色点灯
パワーセーブモード時	2W以下	橙色点灯

【ミニ解説】 DPMS : Display Power Management Signaling の略です。

おしらせ

- 水平または垂直同期信号がOFFになっているにもかかわらず、ビデオ信号(R, G, B)が输出されているようなコンピュータについては、パワーマネージメント機能が正常に作動しない場合があります。
- タッチ操作またはキーボードの適当なキーを押すかマウスを動かすと、画面が復帰します。
画面が復帰しない場合またはパワーマネージメント機能のないコンピュータと接続して使用の場合、信号ケーブルかはすれているかコンピュータの電源が「切」になっていることが考えられますので、ご確認ください。

※ タッチパネルの設定

本機のタッチパネルは、Windows®7のWindowsタッチ®に対応しています。

USBタッチ通信ケーブルをコンピュータに接続して使用します。

本機は2点までのマルチタッチに対応しています。

お願い

- 以下の設定は、管理ユーザー(Administrator)でログインして実施ください。
- 以下の設定をおこなう前に、USBタッチ通信ケーブルで本機とコンピュータを接続しておいてください。
接続するとWindowsの標準ドライバが自動的にインストールされます。

タッチパネルの設定方法

おしらせ

- 導電物の影響を受けやすいため、手や金属などを画面に近づけないでください。
- 本設定中に“ユーザー アカウント制御”ダイアログボックスが表示された場合は、画面の指示に従ってください。

① Windowsのコントロールパネルを開く

「スタート」→「コントロールパネル」をクリックします。

② 「ハードウェアとサウンド」→「Tablet PC設定」をクリックします。

「Tablet PC設定」画面が表示されます。

③ 「画面」タブの「セットアップ」をクリックします。

白背景のタッチスクリーン指定画面が表示されます。

④ 画面をタッチします。

タッチした画面がタッチスクリーンとして認識されます。



おしらせ

- マルチモニター環境で使用する場合は、表示される画面に従って、タッチスクリーンを指定してください。

⑤ キーボードの「Enter」を押します。

「Tablet PC設定」画面に戻ります。

⑥ 「OK」をクリックして画面を閉じます。

おしらせ

- 「Tablet PC設定」画面の「調整」(キャリブレーション)をおこなう必要はありません。

- 本機のタッチ調整は、あらかじめ最適化されています。

この「調整」では、キャリブレーションをおこなうためのタッチマーカー(十字)が表示画面端の四隅に16箇所表示されます(2回目以降は4箇所になります)。

「調整」機能を使用される場合は、タッチマーカーをタッチしてキャリブレーションをおこなってください。タッチ調整が正しく機能しない場合(タッチ位置のずれが発生等)は、リセットボタンをクリックして調整状態をリセットしてください。

- タッチ中に画面が切り替わってしまい、正しく設定されない場合やタッチ位置がずれた状態で設定される場合があります。

- 本設定の詳細は、Windowsのヘルプを参照ください。

機

能

* タッチパネルの操作設定

- ① Windowsのコントロールパネルを開く
「スタート」-「コントロールパネル」をクリックします。

- ② 「ハードウェアとサウンド」-「ペンとタッチ」をクリックします。
「ペンとタッチ」画面が表示されます。

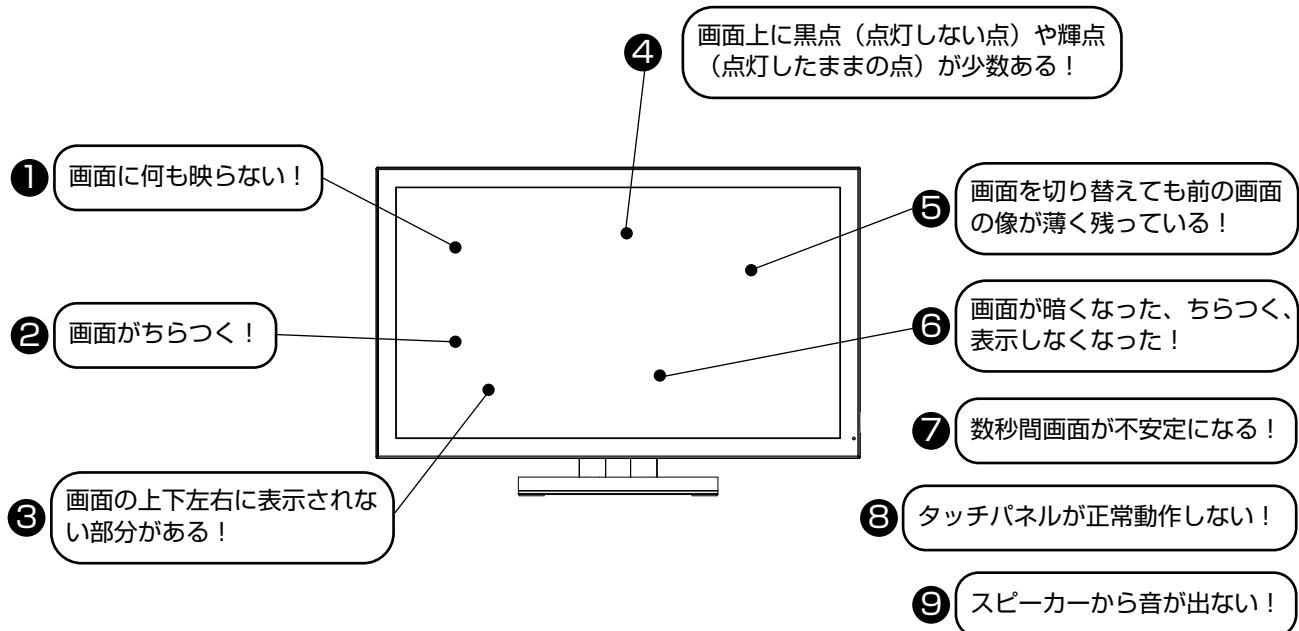
「ペンとタッチ」画面でタッチパネルの操作設定をおこないます。
本設定の詳細等はWindowsのヘルプを参照ください。



- ③ 設定完了後、「OK」をクリックして画面を閉じます。

7 困ったとき

* 故障かな? と思ったら . . .



このようなときは……

チェックしてください。

① 画面に何も映らない！
(電源ランプが点灯しない)

- (1) 主電源スイッチとコントロールダイアルにて電源を“ON”にしてください。 (☞ P6, 7)
- (2) 電源コードを正しく接続してください。
- (3) 電源コンセントに正常に電気が供給されているか、別の機器で確認してください。

(電源ランプが緑色に点灯している)

- (1) OSD 画面で「Contrast」および「Brightness」を調節してください。
(OSD 画面が表示されれば本機は正常です) (☞ P11)
- (2) コンピュータとの接続を確認してください。

(電源ランプが橙色に点灯している)

- (1) パワーマネジメント機能が作動していると画面が表示されません。
タッチ操作またはキーボードの適当なキーを押すかマウスを動かしてください。 (☞ P14)
- (2) 映像信号ケーブルを正しく接続してください。
- (3) コンピュータの電源が「切」になっていないか確認してください。

② 画面がちらつく！

- (1) 分配器を使用している場合は、コンピュータに直接入力してください。

③ 画面の上下左右に表示されない部分がある！

- (1) OSD メニューの Management-Scaling にて最適な表示方法を選択してください。 (☞ P13)
Full 設定以外を選択した場合、入力する解像度によっては、上下左右に表示されない部分が残る可能性があります。

④ 画面上に黒点（点灯しない点）や輝点（点灯したままの点）が少数ある！

- (1) 液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。

このようなときは……

チェックしてください。

⑤ 画面を切り替えると前の画面の像が薄く残っている！

(1) 長時間同じ静止画面を表示すると、このような現象が起こることがあります。電源を切るか変化する画面を表示していれば像は1日程度で自然に消えます。

⑥ 画面が暗くなったり、ちらつく、表示しなくなった！

(1) 液晶モニタに使用しているLEDバックライトには寿命があります。画面が暗くなったり、ちらついたり、表示しなくなった場合は故障あるいは、寿命が考えられます。販売店にご相談ください。

⑦ 数秒間画面が不安定になる！

(1) ご使用のコンピュータによっては、入力信号を切り替えると画面が数秒間不安定になることがあります、故障ではありません。

⑧ タッチパネルが正常動作しない！

(1) 電源コードをAC100V電源コンセントに接続してから約10秒間はコントローラが初期化処理をおこないます。この間に画面に触ると正常に動作しない場合があります。電源投入後30秒以上経ってから操作してください。
(2) 一旦USBケーブルを抜いて、再度電源を入れ直してみてください。
(3) 「Tablet PC 設定」の「画面」タブで「リセット」をクリックして調整状態を一旦リセットした後で再度設定をおこなってみてください。

⑨ スピーカーから音が出ない！

(1) オーディオケーブルを本機およびコンピュータに正しく接続してください。
(2) OSDメニューで音量を調節、またはMuteをOFFにしてください。

* お手入れ

定期的にお手入れを

タッチパネルモニターをより良い状態でご使用いただくため、定期的にタッチパネルのお手入れをおこなってください。
お手入れの際は主電源スイッチにて電源を“OFF”にし、電源プラグを抜いてから、柔らかい布で軽く拭き取ってください。
電源を入れたままお手入れをおこなうと、タッチパネルが反応し、故障の原因となります。
汚れがひどいときには水に浸した布をよくしぼって拭き取り、乾いた柔らかい布で仕上げてください。



1年に1度は内部の掃除を

販売店におまかせください。定期的な掃除は火災、故障を防ぎます。特に梅雨期の前におこなうのが効果的です。
内部掃除費用については販売店にご相談ください。



* 保証とアフターサービス

- この製品には保証書を添付しています。
保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。
内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。
- 保証期間は保証書に記載しています。
保証書の記載内容によりお買い上げの販売店にご依頼ください。
その他詳細は保証書をご覧ください。
- 保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
- その他、アフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げの販売店へご相談ください。

アフターサービスを依頼される場合はつぎの内容をご連絡ください。

- | | |
|------------------|-----------------------|
| ●お名前 | ●製造番号(本機背面のラベルに記載) |
| ●ご住所(付近の目標など) | ●故障の症状、状況など(できるだけ詳しく) |
| ●電話番号 | ●購入年月日または使用年数 |
| ●品名:タッチパネルモニター | |
| ●形名:TSD-PT241W-C | |

困ったとき

8 付録

保証書

本保証書は日本国内においてのみ有効です。

本保証書は、本記載内容で無料修理させていただくことをお約束するものです。本保証書は所定事項を記入して効力を発するものですから必ず製造番号、お買い上げ日、販売店名、ご住所、電話番号の記入をご確認ください。

製造番号とは、本体の定格銘板ラベルまたは梱包箱のラベルに記載している9桁（内アルファベットは2桁）の番号です。

お客様にご記入いただいた保証書は、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がありますので、ご了承ください。

形名 TSD-PT241W-C	製造番号
保証期間 1年	お買い上げ日 年 月 日
お客様名	販売店名・住所・担当者
住所 〒	
TEL : ()	

〈保証条件〉

- 取扱説明書・本体貼付ラベル等に従った正常な使用状態で故障した場合には、本保証書の記載内容に基づき弊社が無料修理します。
- 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、お買い上げの販売店に製品と保証書をご提示のうえ依頼してください。
なお、製品を発送される場合の送料はお客様ご負担となりますのでご了承ください。
- 保証期間内でも次のような場合は有料修理となります。
 - 保証書をご提示されないとき。
 - 本保証書の所定事項の未記入、記載内容の書き換えられたもの。
 - 火災・地震・水害・落雷・その他の天変地異、公害や異常電圧による故障または損害。
 - お買い上げ後の輸送、移動時の落下等のお取り扱いが不適当なため生じた故障または損害。
 - 取扱説明書に記載の使用方法や注意に反するお取り扱いによって生じた故障または損害。
- 本保証書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。

したがってこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についての詳細はお買い上げの販売店までお問い合わせください。

※ 仕様

TFT カラー液晶パネル	サイズ(表示サイズ)	24型 (60.87cm)
	表示画素数	1920 ドット× 1080 ライン
	画素ピッチ	0.277mm
	カラーフィルタ配列	RGB 縦ストライプ
	視野角 (CR \geq 10)	左右 \pm 89° / 上下 \pm 89° (標準)
タッチパネル および コントローラ	方式	投影容量方式
	表面処理	クリア
	出力	USB
	同時タッチ点数	Windows®7 : 2 点まで
入力信号	ビデオ信号	アナログ 0.7Vp-p (入力インピーダンス 75 Ω)、デジタル RGB(TMDS)
	同期信号	セパレート同期信号 (TTL)、複合同期信号 (TTL)
走査周波数	水平	30.0kHz ~ 80.0kHz
	垂直	50.0Hz ~ 75.0Hz
表示色	最大 1677 万色以上	
コントラスト比	3000 : 1 (標準)	
表示サイズ (水平×垂直)	531.36 (H) × 298.89 (V) mm	
輝度	270cd/m ² 標準	
入出力信号コネクタ	映像信号	ミニ D-Sub15 ピン (メス) / DVI-D (メス)
	タッチ通信信号	D-Sub9 ピン (メス) / USB type-B (メス)
音声入出力	入力コネクタ	3.5 Φ ステレオミニジャック
	スピーカー	1W+1W (ステレオ)
使用環境条件	周囲温度	5°C ~ 35°C
	湿度	10% ~ 80% RH (結露なきこと)
供給電源	AC100V ~ 240V 50/60Hz	
消費電力	45W (標準)	
適合規格	UL/c-UL、FCC/DOC、VCCI クラス B	
外形寸法	幅 582mm × 高さ 395mm × 奥行き 236mm (スタンド含む)	
質量	約 10kg (スタンドなし 8kg)	

【ミニ解説】 視野角：白と黒のコントラスト比が 10 以上に表示できる角度を示します。

△警告

- 付属の電源コードは AC100V 専用です。AC100V 以外でご使用になる場合は、別途電源電圧に合った電源コードをご用意ください。

FCC Information

1. Use the attached specified cables with this equipment so as not to interfere with radio and television reception.
 - (1) The power supply cord you use must have been approved by and comply with the safety standards of U.S.A.
 - (2) Please use the supplied shielded video signal cable with ferrite cores, USB cable. Use of other cables and adapters may cause interference with radio and television reception.
2. This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy, and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:
 - Reorient or relocate the receiving antenna.
 - Increase the separation between the equipment and receiver.
 - Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
 - Consult your dealer or an experienced radio/TV technician for help.

Declaration of Conformity

This device complies with Part 15 of FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions. (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.



We hereby declare that the equipment specified above conforms to the technical standards as specified in the FCC Rules.

40D871122D10